

保護者様

令和4年2月7日
枚方市立五常小学校
校長 榊 正文

令和3年度学校アンケート(学校教育自己診断)の結果について

平素は、本校教育活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

今年度の学校アンケートについてご報告いたします。今年度の回答率は87.2%でした。ご協力いただきありがとうございました。合わせて集計結果(全児童・全保護者の割合)グラフをご参照ください。

用語解説

肯定的割合・・・「よくあてはまる」と「あてはまる」の回答を合わせた割合。

評価・・・・・・・・学校独自に下記のように設定しました。

A:95.0%以上 B:94.9~90.0% C:89.9~85.0% D:84.9%以下

昨年比・・・・・・・・評価のABCDの変化を表しました。

保護者・児童共通の質問から

【共通質問 高学年】	児童(高)		評価	昨年比		保護者(高)		評価	昨年比
	R2	R3				R2	R3		
1.子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	89.5	92.1	B	△	1	89.1	89.2	C	
2.落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	92.5	93.4	B		2	91.9	92.4	B	
3.授業が楽しく、わかりやすい。	97.5	97.4	A		3	89.0	88.6	C	
4.豊かな心をもった子どもを育てている。	98.7	97.4	A		4	94.0	94.4	B	
5.子どもの話をよく聞いてくれている。	96.6	98.7	A		5	89.5	93.5	B	△
6.社会のルールを守る態度を育てている。	96.2	98.2	A		6	95.9	94.7	B	
7.ICT機器を使った授業を行っている。	97.1	96.9	A		7	90.9	95.8	A	△
8.意見や考えを発表している。	63.2	72.8	D		8	95.0	97.7	A	
10.毎朝、朝ごはんを食べている。	98.7	95.6	A		10	96.8	94.7	B	▼
11.自主的に宿題をしている。	93.7	82.9	D	▼	11	86.4	80.4	D	▼
12.自分から挨拶をしている。	89.5	88.2	C		12	82.7	78.8	D	

まず児童項目の良くなった点は、以前から課題として挙げていた、8.意見や考えの発表です。評価はDですが、大幅にポイントが伸びています。この項目は低学年は高く学年が上がるほど低くなる傾向があります。ところが、昨年5年時に 55%だった6年生が今年 15P以上伸ばして 70%を超えています。4,5年生は多少低くはなっていますが、高さをキープしています。これは、日々の授業の取り組みとこの3年間の「言語活動を通した授業デザインの校内研究」が奏効したことが考えられます。

一方、11.自主的に宿題をしている、が 10P 以上低下しています。4,5年生が、昨年 90%台だったところから、10P 以上低下しています。一方、平日の学習時間は、4,5年生

は、6年生よりも長い傾向があります。塾や習い事などの家庭生活の忙しさに関係があるのかもしれませんが。枚方市教委全体で宿題(学習)の個別化・効率化の課題がありますので、その関連も考えて、本校の今後の学力向上策に生かしていきたいと考えます。

【共通質問 低学年】	児童(低)		評価	昨年比		保護者(低)		評価	昨年比
	R2	R3				R2	R3		
1.子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	92.9	90.5	B		1	93.9	87.8	C	▼
2.落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	90.7	88.4	C	▼	2	91.8	91.9	B	
3.授業が楽しく、わかりやすい。	96.4	92.1	B	▼	3	93.8	90.2	B	
4.豊かな心をもった子どもを育てている。	96.0	93.4	B	▼	4	95.6	94.0	B	▼
5.子どもの話をよく聞いてくれている。	97.3	97.1	A		5	95.1	92.9	B	▼
6.社会のルールを守る態度を育てている。	96.4	95.4	A		6	96.2	96.0	A	
7.ICT機器を使った授業を行っている。	93.8	95.0	A	△	7	78.6	94.1	B	△
8.意見や考えを發表している。	90.6	79.7	D	▼	8	96.6	95.7	A	
10.毎朝、朝ごはんを食べている。	98.7	96.3	A		10	99.1	99.9	A	
11.自主的に宿題をしている。	92.4	90.0	B		11	85.8	73.9	D	▼
12.自分から挨拶をしている。	90.5	88.9	C	▼	12	77.0	79.5	D	

児童項目 2.3.4.13.15.(下記)と保護者項目 11.(下記)にかけて関連して考えると、特に低学年で学級内の規律等にやや課題があると見てとれます。これらは既に学校全体の課題ととらえ対処しているところです。また、児童項目 8.意見や考えの発表が昨年より10P低下しています。本来高くなる1,2年生が低くなっていることから、これも課題として参ります。

【児童だけへの質問】	低学年児童		評価	昨年比		高学年児童		評価	昨年比
	R2	R3				R2	R3		
13.授業でわからないことを先生に質問しやすい。	88.4	81.3	D	▼		87.9	89.9	C	
14.自分にはじまんでできるものがある。	75.5	91.7	B	△		81.6	84.6	D	
15.チャイムで席に着き、教科書やノートを出している。	91.5	86.3	C	▼		82.4	77.2	D	▼
16.学校のきまりを守っている。	95.1	95.0	A			95.0	90.3	B	▼
17.休み時間に友達と楽しく遊んでいる。	96.9	98.3	A			97.9	95.2	A	
18.読書は好きだ。	88.0	85.9	C			86.1	75.0	D	▼
19.国語がよくわかる	94.2	92.5	B			93.3	94.7	B	
20.算数がよくわかる	93.8	92.9	B			96.2	91.7	B	▼

本校では、18.児童の読書時間が短く、その時間の増加を課題ととらえています。これには先程も申した家庭生活の忙しさがあるのかもしれませんが、読書は語彙の習得や読解力の養成に必要で、長期的に全ての教科学力(認知能力)に関係するものです。さらには、豊富な知識、多様なものの見方を得て価値観を醸成するものであり、非認知能力の向上にも関係します。学校としては、本を好きになり多く読んでもらうべく、対策を考えて参ります。図書ボランティアなど、保護者・地域の皆さまにもご協力を賜る場面が出てくると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【保護者だけへの質問】	低学年保護者		評価	昨 年 比		高学年保護者		評価	昨 年 比
	R2	R3				R2	R3		
13.清掃が行き届くよう努力している。	87.9	89.8	C		14	85.4	89.5	C	
14.学校は、保護者・地域のニーズに応えている。	新規	89.1	C		15	新規	89.9	C	
15.学校は、保護者と話す機会や参観を多く持っている。	95.7	87.9	C	▼	16	91.8	87.6	C	▼
16.学習内容等を懇談や便りで知ることができる。	94.8	91.2	B		17	92.8	90.6	B	
17.ブログ等学校のお知らせにより様子がよくわかる。	新規	90.8	B			新規	91.8	B	
18.先生は、相談に適切に応じてくれる。	93.2	95.1	A	△	18	94.1	95.1	A	△
19.PTAや地域行事に参加している。	75.7	71.3	D		19	77.5	77.7	D	

学級、学校のお知らせや広報を充実し、保護者・地域のニーズに敏感な学校経営を心掛けるとともに、しっかりと説明責任を果たして参ります。

自由記述について

今年も「学校行事」「施設」「ICT教育」「教育課程」「情報発信」等に関して、のべ45のご意見をいただきました。すべてのご意見を全職員で共有し、今後の学校教育の参考とさせていただきます。

まずもって、皆さまからの感謝やお褒めのお言葉を多数いただきました。このようなお言葉で教職員のモチベーションは上がります。心から感謝申し上げます。

ここでは、いただいたご意見等の中で主なものについて記述いたします。(同趣旨はまとめています) ※なお、学校だより1月にも、これまでいただいたご意見等へのご回答をしています。合わせてご覧下さい。(ブログ→右下 学校だより1月号)

<https://www.l2.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=c20200120>

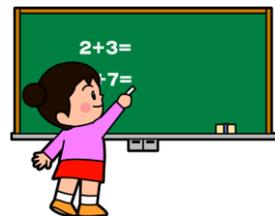
学習面について

ご意見)

個人に合わせ取り残しのない教育をしてほしい。

回答)

個々の状況に合わせた「個別最適な学習の推進」は、国、枚方市教委にとっても重要な課題であり、学力を向上させていくためには、不可欠なものと認識しています。来年度以降の学力向上施策において、できる限り推進して参ります。



ご意見)

子どもの成長や友だちとの関係作りに体験学習の機会が沢山あると良い。

回答)

体験的な学習は、教科学力(認知能力)に加え、人として生きる力とされる「非認知能力」の向上にも関係します。様々な制約はありますが、本校としては幅の広い体験的な学習を重視して参ります。

ご意見)

チャンツやプレゼンテーションに加え、単語や発音など、理屈も交えて丁寧に教えてほしい。

回答)

これまでの外国語教育の反省から、平成 29 年に発効した学習指導要領において小学校の外国語(3・4年生は「外国語活動」5・6年生は「外国語科」)の学習内容が設定されました。小学校の間は、まずは楽しく活用できる外国語をめざすこととなっています。外国語については今後ますます重要性が増すことから、本校では来年度から学力向上をめざす施策を講じて参るつもりです。

ご意見)

低学年からタイピングのブラインドタッチのスピードを競わせるのはやめてもらいたい。タブレットを毎日持っていくとランドセルが重すぎる。タブレット学習はタブレットを持ち帰らない範囲で行って欲しい。

回答)

児童にとって ICT 機器は、鉛筆やノート同じ文具とみなしています。これを使いこなすことは今後の社会では必須となりますので、学校・家庭関わらず、どんどん使うことが重要と考えています。ただし、使い過ぎのご懸念もあると思いますので、ご家庭の考えに合わせて、「スクリーンタイム」等で制限をされることをご検討ください。(設定→スクリーンタイム) 今後も保護者の皆さまのご意見を傾聴しつつ進めていきたいと考えています。なお、今年度より、教科書等を学校に置いておく(いわゆる置き勉)を推奨しています。該当教科等は学年で決めていますので、担任にお問い合わせください。

ご意見)

帰宅後すぐに宿題をできるように、ロイロノートの発信の時間を工夫してほしい。また、仕事のため確認してやれないことが多いので、土日はできれば宿題がないと助かる。

回答)

ロイロノートの配信時間については、おっしゃるとおりと存じますので、できる限り早くお送りするように教職員に促して参ります。土日の宿題については、ご家庭の事情も十分理解できます。上記にもありますが、個別最適化と効率化を常に頭において、今後の宿題の出し方について考えて参ります。

ご意見)

生活の習慣づけの徹底はじめ、それぞれの学習等のめあてを学年ごとに段階的に設定し、体系的に六年間で目標に到達できるような仕組みにしてほしい。

学習の見通し(予定)や振り返りを細やかに発信し、学級の様子や学習の目的などが、家庭によく伝わるようにしてほしい。

自分で計画立ててできるように宿題や予習の課題を一週間単位で事前に発信してほしい。

回答)

児童が、主体的、自主的、計画的に学習する力を身につけることは、非常に重要なことと考えます。児童(ご家庭)が前もって学習の見通しを持つことができ、ご家庭でも学習状況

を把握できるような発信を心がけるよう、教職員に促して参ります。



生活面について

ご意見)

担任だけでなく、多数の先生が関わって欲しい。転入者へのフォローをしてほしい。

回答)

学年の児童は主任を中心に学年で見えており、また必要に応じ、学校全体でもしっかり情報共有を行い組織的に関わっております。特に転入者は個別の支援が必要です。ご要望は担任、学年主任、管理職ともに承りますので、ご連絡ください。

ご意見)

上着を着せていきたいが、置く場所がない。

回答)

個人用のスペースが狭く、ご不便をおかけしております。教室では、自席の背にかけたり、荷物を除いたランドセルの中に入れてたり、ロッカーに入れてたりと、限られた空間の中で、児童が安全に過ごせることを第一に各教室で様々な工夫をしています。お気づきのことがありましたら、学校へご相談ください。

ご意見)

短くなった 20 分休みを元に戻してほしい。

回答)

手洗い等コロナ感染防止にかかる時間や学習時間の確保のため、やむを得ず今年度から日課表を変更いたしました。今後はその時の優先事項を踏まえながら、日課表の編成を行って参ります。

働き方、ICT 改革について

ご意見)

子どもを啓発するのに、給食だよりや保健だよりは紙の方がよい。行事予定表は紙の方が見やすい。

負担の軽減になる電子化や業務の合理化は今後もを進めてほしい。

回答)

本校の働き方改革やICT化について、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。以前より、紙の方がよいというお声はいただいています。そこで、スマホで見やすいように、学校だより、学年だより等一部のお手紙については「スマホ版」での発行をしているところです。

一方で、紙がかさばって困る、デジタルの方が検索や保存ができてよい、というお声もいただいております。今後もその目的に応じて、保護者の皆さまのご意見を傾聴しつつ、働き方改革やICT化を進めていきたいと考えています。